

第35期

経営者としての軸と覚悟

エグゼクティブ・マネジメントコース (EMC)

経営者に必要な

「経営観」「構想力」「決断軸」を醸成する

| 会期

2024年8月～2025年3月（全9回・26日間・合宿3回）

| 会場

・日本能率協会（東京都港区芝公園）
・都内研修会場 他

| 対象

経営者として活躍が期待される方

主な役職：本部長、事業部長、部長、工場長、支社・支店長等

スマートフォン
タブレットから



エグゼクティブ・ マネジメントコース(EMC)

経営者に必要な「経営観」「構想力」「決断軸」を醸成する

近年経済は複雑化し、変化のスピードも早く、先の見えないVUCAの時代が続いています。これからの企業経営においては、変化に応じて事業や組織を改革し、パラダイム転換していくことが求められています。

経営人材は自身の経営観を持ち、高い視座と業界を超える広い視野で構想し、進むべき方向性や選択を決断していかなければなりません。**ぶれることのない自説を構築し、それを伝える強い意志と言葉が必要です。**

本コースでの学びや経験を通じて、相応しい人材へと意識・行動を変革します。



コースのねらい

1 「経営観」の醸成

～経営課題・経営者のあり方の探求～

ベーシックからトレンドまで、各単位で取り上げる経営テーマについて常に「経営者の立場で物事を捉える」という目線の高さが求められます。講師やゲストの多くは経営者であり、意図的に視座を引き上げ、深い議論や内省を通じて「経営観」を磨き上げていきます。

2 「構想力」の鍛錬

～共同テーマ研究～

チームでの研究活動を通じて、

1 未踏課題に踏み込む勇気の醸成

2 大きな構図で物事を捉える訓練

3 既成概念にとらわれない思考

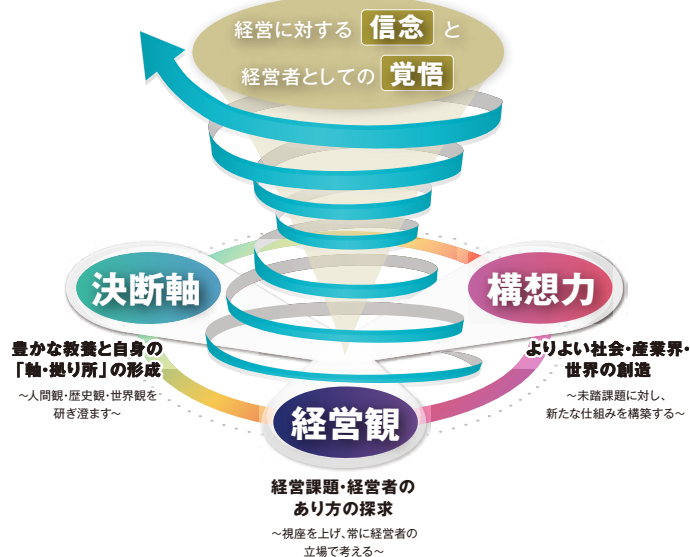
の鍛錬をします。企業や業界を超え、世界や社会全体を俯瞰し構想することができることも、経営者に必要な能力です。

3 「決断軸」の確立

～豊かな教養と「観」の醸成～

歴史、文化、自然科学など、一見ビジネスとは関係が薄いテーマですが、経営者が持つべき、世界観・歴史観・人間観を涵養し、経営の意思決定に必要な自身の軸や拠り所の形成に役立てます。

中長期的・大局的視点で自社を成長・発展させる



プログラム概要 (2024年度予定)

プログラム(全9回・26日間/内2日は1 on 1、合宿3回)

単位	日程	テーマ	共同テーマ研究	1 on 1
1	2024年 8月23日(金) ～25日(日) 3日間(通い)	自身と自社の 過去(歴史)を 振り返る	自分軸の探求 キャリアや人生を振り返り、 仕事への価値観や経営への思いを探る ●オープニングセッション ●自分軸・価値観の探求	チーム編成 研究テーマ検討
2	9月12日(木) ～14日(土) 3日間 国内合宿 (未定)		自社の歴史から学ぶ 30年の経営を振り返り、 戦略や経営者の意思決定の変遷を知る ●経営の歴史から学べること ～日本企業の競争力～	第1回
3	10月4日(金) ・5日(土) 2日間(通い)		失敗から学ぶ経営 敢えて「失敗」を取り上げ、今に繋がる課題を見出す ●失敗から学ぶ経営 ●経営者が備えるべき危機対応力	
4	10月25日(金) ・26日(土) 2日間(通い)	現在を 踏まえて 未来を見通す	経営倫理の実践と企業の社会的責任を考える サステナビリティ経営に向けて ●企業の不祥事とビジネス倫理 ●共同テーマ研究中間報告会	中間報告会
5	11月18日(月) ～22日(金) 5日間 海外合宿 (未定)		グローバル視点で捉える経営課題 今後の企業経営の方向性を探る ●現地経済団体訪問、企業視察など	
6	12月20日(金) ・21日(土) 2日間(通い)		経営者の仕事を再考する 現経営者の意識と思考を探り、成し遂げるべき仕事を定義する ●社長インタビュー ～経営者の意識と思考を探る～ ●経営者の倫理観	
7	2025年 1月16日(木) ～18日(土) 3日間 国内合宿 (京都)		グローバルと未来の経営を考える 今後の経営に必要な新たな視点と知見の習得、問題意識の醸成 ●グローバル組織のビジネスマインド ●日本企業の覚醒	
8	2月7日(金) ・8日(土) 2日間(通い)	自身の 経営観・ 信念を 確立する	未踏課題解決の構想 大局的な事業観で、ビジネスや社会システムを再構築する ●社会・経営課題を解決する ●共同テーマ研究 最終報告会	最終報告会
9	3月4日(火) ・5日(水) 2日間(通い)		我々をどうするか 経営に対する価値観・信念を自身の言葉で発信する ●経営者としての覚悟と志 (経営所信表明)	
	2025年末 2日間(合宿)	フォローアップ	修了後の学びと成長の共有 ●自身の覚悟と取り組みの振り返り	

※日程・プログラム内容等は変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

主な講師陣 (2023年度実績)



三品 和広
神戸大学大学院
経営学研究科 教授



清水 勝彦
慶應義塾大学大学院
経営管理研究科 教授



藤原 雅俊
一橋大学大学院
経営管理研究科 教授



山川 恭弘
バブソン大学
アントレプレナーシップ
准教授



共同テーマ研究

5名前後のメンバーでチームを編成し、コース期間を通じて研究活動を行います。チームで設定した社会課題・産業界の課題に対して、業界・業種や企業風土などが異なる多様な価値観を持ったメンバーが、個々の持つ経験や見識を持ち寄り議論を深め、創造的かつ実践的な施策を描きます。活動プロセスで培われる視座や構想力は経営者に求められる要素です。また、緊密な研究活動を通じて、チームメンバー相互の信頼関係と人的ネットワークを形成します。

ファシリテータ



三ツ松 新

イノヴェティカ・コンサルティング
代表

アカデミックアドバイザー



藤原 雅俊

一橋大学大学院
経営管理研究科 教授

コメンテータ



下野 雅承

日本アイ・ビー・エム株式会社
名誉顧問
元・副会長



榎戸 康二

創援株式会社
代表取締役社長
元・パナソニック 専務取締役



高橋 ゆき

株式会社ベアーズ
取締役副社長

(2023年度実績)

メンタリングセッション

豊富な経営経験をもつ実務家による講義・メンタリング(1on1個別面談)を実施します。
自身の経験をこれから日本を牽引する人材の成長につなげたいという熱い想いを持つ4人のメンターが、個別に経営実践力強化のフォローを行います。

メンター



八木 洋介

株式会社people first
代表取締役



伊藤 嘉明

X-TANKコンサルティング株式会社
代表取締役社長兼CEO



二之宮 義泰

合同会社ダイナミックコンサルティング
代表
事業構想大学院 特任教授



知識 賢治

株式会社オンワードホールディングス
取締役副社長

(2023年度実績)

世界観・歴史観・人間観の涵養～リベラルアーツからの学び～

事業や経営を語るうえで、まず健全な世界観や歴史観、人間観の涵養を通して**自身の軸を形成すること**が必要であると考えます。

例えば、日本の文化やルーツに触れ日本らしさを考察すると、日本人のアイデンティティについて理解を深める必要があると再認識することになります。

歴史、芸術、自然人類学、地政学、東洋思想などの学びを通じて**自身の経営観を支える土台となる部分**に磨きをかけていきます。



リベラルアーツ担当講師陣

(2023年度実績)



日本美術

川嶋 渉

京都市立芸術大学
教授 日本画家



自然人類学

長谷川 眞理子

総合研究大学院大学学長
理学博士・自然人類学者



地政学

細谷 雄一

慶応義塾大学
法学部 教授



東洋思想

守屋 淳

中国文学者
作家



宗教

安永 雄玄

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺執行長

常に経営者の目線で考える

本コースでは期間中、全ての文脈において「**経営者の立場で物事を捉える**」という視座の高さが求められます。

それは、経営テーマごとの“問い”や課題の“設問”について考え、

メンバーとの深い議論を通じて必然的に高まっていきます。

そして想いや考えを言語化し、ステークホルダーにどのように伝えていくのかも重要です。

最終単位の個人プレゼンテーション「**社長就任所信表明演説**」に向けて、自身の経営観、自社の将来ビジョンを磨き上げていきます。



経営者育成アドバイザー

本コースで取り上げるテーマや内容について、経営者育成アドバイザーに助言をいただきます。企業経営経験者の視点から、プログラムの学びや経験が経営の実態に合っているかどうか、実践的で有益であるかどうか確認しています。



川名 浩一

元 日揮ホールディングス株式会社
社長、副会長



木川 眞

ヤマトホールディングス株式会社
特別顧問
ヤマト運輸株式会社
元社長、会長



猿丸 雅之

YKK株式会社
代表取締役会長



菊地 唯夫

ロイヤルホールディングス株式会社
代表取締役会長

経営者として活躍するOB（インタビュー）

多様で破天荒な同期との出会いで、「井の中の蛙」だと気づく

2002年、社命によりEMCに参加しましたが、当時は大変多忙だったため、正直、最初はネガティブな気持ちで出席していました。「なぜ今、私が参加せねばならないのか」と上司や人事に不満を漏らしたことを覚えています。しかしながら、多種多様な業種・職種のリーダー達と出会い、意見交換を繰り返すうちに、自分の意識は大きく変化していきました。受講開始から3か月くらい経ったころだと思います。私はヤマハしか知らずにいたため、自社の常識が経営の常識だと思っていたのですが、他社の経営手法や発想・考え方に触れ、自分がまさに「井の中の蛙」であることに気づかされました。また、私は当社の中では“弾けている”ほうでしたが、EMCにはもっと“弾けた”、破天荒な仲間がたくさんいました。

2002年度修了



中田 卓也 氏

ヤマハ株式会社
取締役 代表執行役社長

続きはホームページを
ご覧ください

<https://jma-mi.com/ob/>



上記のほか、下記インタビューも掲載されています

2003年度修了

佐々木 一郎 氏

ブラザー工業株式会社
代表取締役社長

2013年度修了

大櫛 顕也 氏

株式会社ニチレイ
代表取締役社長

2015年度修了

玉置 和彦 氏

日鉄ソリューションズ株式会社
代表取締役社長

過去の参加企業（法人格略、一部、会社名当時）※50音順

- | | | |
|---------------------|-------------|-------------------|
| ●アイシン | ●サッポロビール | ●東日本旅客鉄道 |
| ●SCSK | ●人事院 | ●日鉄ソリューションズ |
| ●NECソリューションイノベータ | ●住友商事 | ●日本信号 |
| ●NECネットエスアイ | ●関ヶ原製作所 | ●日本製菓 |
| ●アソシエイトエナジー | ●ダイト | ●日本生命保険 |
| ●オリンパス | ●高砂熱学工業 | ●日本郵便 |
| ●花王グループカスタマーマーケティング | ●竹中工務店 | ●フジテック |
| ●カシオ計算機 | ●東急電鉄 | ●プロスパイラ |
| ●キッツ | ●東京エレクトロン | ●ポッカサッポロフード&ビバレッジ |
| ●京セラコミュニケーションシステム | ●東京ガス | ●ホッカンホールディングス |
| ●麒麟ホールディングス | ●東京地下鉄 | ●三菱ケミカル |
| ●クボタ | ●ニチレイフーズ | ●八洲電機 |
| ●クラレ | ●日揮ホールディングス | ●ヤマハ |
| ●構造計画研究所 | ●日本ゼオン | ●ゆうちょ銀行 |

「エグゼクティブ・マネジメントコース(EMC)」お申し込みについて

参加申込規定はお申込みページにございますのでご確認、同意のうえお申込みください。

コース名	会 期	参加料／法人会員 ※(税込)	参加料／会員外 ※(税込)
エグゼクティブ・マネジメントコース	全9回 26日間	¥3,487,000-／1名	¥3,817,000-／1名

※法人会員とは、一般社団法人日本能率協会の法人会員を指します。

（参加料に含まれるもの）

- テキスト費（必読書・参考書籍除く）
- 昼食費（オンライン時は除く）
- 宿泊費（合宿単位）

（参加料に含まれないもの）

- 国内外の研修開催地までの交通費、事前宿泊費
- 国内外の自主活動時の交通費、宿泊費等

各種送付物・参加料のお支払いについて

- 請求書は原則として、「申込責任者」宛に、開催日の約1か月前に送付いたします。事前資料のあるコースは、随時お送りいたします。
- 参加料は、請求書記載の支払期限までに指定口座までお振込みください。
- 振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします。お支払い方法等につきご希望がございましたら、お問い合わせください。

注意事項

- 教育研修団体、経営コンサルタント、教育インストラクターの方のお申込みは、お断りする場合がございます。
- テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストはお分けていたしません。
- 録音、録画、撮影はご遠慮ください。

参加申込後の取り消し（キャンセル規定）

お申込み後、参加者の都合にてキャンセルされる場合、下記のとおりにキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
なお、キャンセルのお申し入れは、必ずメール（info-jmi@jma.or.jp）にてご連絡ください。

開催3ヶ月前～2ヶ月前（開催日を含まず起算）	参加料の30%
開催2ヶ月前～31日前（開催日を含まず起算）	参加料の50%
開催30日前	参加料の全額

プログラム内容のお問合せ先

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター
JMAマネジメント・インスティテュート事務局
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL: 03-3434-1955 E-mail: info-jmi@jma.or.jp HP: <https://jma-mi.com>

Webサイトから
お申し込みください

パソコン（各種検索サイト）からダイレクトで

JMI

検索

もしくは、<https://jma-mi.com>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方はJMI（マネジメント・インスティテュート）事務局までお電話にてお問い合わせください。

TEL: 03(3434)1955